

各県支部の取組みと教訓を交流 確信と決意に充ちた北陸信越ブロック会議



同盟北陸信越ブロック会議は10月8~9日、新潟県上越市・直江津で開催され、北信越5県から40名が参加しました。会議は永島中央本部事務局長の基調報告に続いて本部副会長の小松実さんが「今につながる治安維持法体制に決着を」と題され、記念講演が行われました。また、夕食会は参加者全員が発言、特に新潟上越支部の会員による腹話術など楽しい懇親会となりました。そして、2日目は支部を中心とした活動報告と意見交流が活発に行われ、盛会裏に終了しました。長野からは大石会長はじめ8名が参加しました。



長野県版
第524号
2024年9月15日

治安維持法懐性者同盟
長野県本部
〒380-8790
長野市県町593
高校会館内

発行人 大石信之一
TEL 0268-38-7685
編集人 山山光昭
TEL&FAX 026-227-7259
e-mail yamaguchi@trust.ocn.ne.jp

上越支部の教訓

再建から2年半、会員は91名に

各県ならびに各県支部の報告は、いずれも教訓的で長野県の各支部の活動に参考になるものでした。その中で新潟県上越支部のとりくみは素晴らしいもので、かいづまんでも報告します。

▼ 2022年4月に再建し44人を確認、
2年半後の今は91人。100周年には
100人をめざす。

▼ 再建以来、6回の講演会など開き、
地域での同盟の存在を定着させる。

▼ 多方面の人々に呼びかけ、僧侶の方4
人、教育長など元校長6人に会員になつてもらつた。

▼ 元校長の入会には、「教え子を再び
戦争に送らない」ためには、今の戦
争する国造りを辞めさせることが重
要、と訴えた。

▼ その点で、治安維持法犠牲者救援だ
けでなく現実的 requirement と課題が必要で、
国賠同盟の名称変更も検討すべきだ。

長野県からは大石会長の県全体の報
告をはじめ、澤田佐久子さん、斎藤正
憲さん、中澤勘介さん、阿部文枝さん、
浅野一彦さんが積極的に討論に参加し
交流会を盛り上げました。



盛会裏に終わった参加者全員・37名の集合写真

第50回総選挙

自民党政治にサヨナラを!!
信州市民連合が最後の訴え【声明】

総選挙公示を迎える、長野県民に訴える

私達は10月2日、立憲民主党、日本共産党、社会民主党的県組織に対し、長野県各選挙区における候補者一本化を要請した。各党県組織代表は、この要請に真摯に応えることを約し、10月11日の日本共産党長野県委員会の記者発表にあるように、5区を除く全選挙区において候補者の一本化が実現された。信州市民連合は、関係者のこれまでの努力に深い敬意を表明するものである。

これをうけ、本日10月13日の信州市民連合全体会議では、以下の各氏を信州市民連合の推薦候補者とし、当選に向け全力を挙げて支援することを決定した。

1区 篠原孝
(立憲民主党)
2区 下條みつ
(立憲民主党)
3区 武神津健
(立憲民主党)
4区 田良介
(日本共産党)

5区においては残念ながら一本化が実現されなかつたが、この事実は現下の全国的な野党間の分断状況を直截に反映するものであり、遺憾ながら私達の対応能力をこえるものであった。信州市民連合は、来年に予定される参議院選挙をはじめとする各国政選挙において、このような状況を克服し、市民と野党の共闘の再建に注力する決意を表明する。私達は、立憲野党、とりわけ野党第一党である立憲民主党に対し、国民のために、野党間の分断を克服するためのリーダーシップの発揮を強く希望するものである。

金総裁選にみられるように混乱の極にあり、
『下段後半に続く』

国賠同盟の活動に新たな確信を

北信越ブロック会議参加記

北部支部 阿部文枝



小松実先生の講演は歴史を整理することを学び、目からうろこが出るほど感動しました。私は同盟員になる前から署名活動をしていました。しかし、地域での活動は署名をとることの難しさを感じています。「治安維持法ってなーに」「昔のことがでしょ」「被害者はまだいるの?」など聞かれ、しどろもどろ説明しました。

しかし、今回の交流会で、「戦後政治をゆがめてきたおおもとを正す運動にする」「自分たちの生活をよくするための活動」と知ることが出来ました。

各县の報告も胸に響きました。来年は治安維持法施行100年。私自身がもつと勉強して「ふたたび戦争と暗黒政治を繰り返さない」ために頑張っていきます。



県同盟からの8名の参加者

《上段より》統治能力は危機に瀕している。この危機を克服し、日本を軍拡・戦争と生活破壊の道から救うためには、立憲野党の勢力拡大が必須である。私達は、すべての長野県民に候補者の眞面目を見分け、そして信州市民連合推薦候補者への支援を賜るよう、強く訴えるものである。

2024年10月13日

県内外の動き



袴田さん再審無罪が確定

『中信支部碑前で』
てられ、毎年命日の9月にこの地の整備と千代子の思いをつなぐために集つてきた』とあいさつされました。

9月23日、諏訪市の千代子顕彰碑の前で、1997年千代子顕彰碑建設の実行委員長だった木島日出夫をはじめ関係者15人ほどが集まり、千代子追悼の碑前祭が行われました。

木島さんは「この記念碑は、全国の支援で建てられ、毎年命日の9月にこの地の整備と千代子の思いをつなぐために集つてきた」とあいさつされました。

58年間にわたって死刑囚とされてきた袴田巖さんが、9月6日静岡地裁から無罪が言い渡され、検察が控訴を断念。再審無罪が確定しました。無実の人を死刑に。再審についての法改正など重要な問題が今後の課題となっています。

法100周年の記念事業は、この分野の著名な研究者である小樽商大名誉教授・荻野富士夫さんの講演です。



「2・4事件」プレ集会の会場



中信支部は10月6日、伊藤千代子墓参のバスツアーやを行い16名が参加。さらに、千代子に関係のある山一林組や千代子の生家なども巡回しました。
映画「伊藤千代子の生涯」の上映は、11月10日麻績交流センター、11月16日坂北総合福祉センターで行う予定です。

千代子歿後95年碑前祭

中信支部 千代子顕彰碑をバスツアー

中信支部は10月6日、伊藤千代子墓参のバスツアーやを行い16名が参加。さらに、千代子に関係のある山一林組や千代子の生家なども巡回しました。

映画「伊藤千代子の生涯」の上映は、11月10日麻績交流センター、11月16日坂北総合福祉センターで行う予定です。



2・4事件プレ集会

井出節夫さん 岩田健治を熱く語る

治安維持法100周年のプレ集会が、10月13日松本で開かれ、井出節夫さんが、「岩田健治と「2・4事件」」と題して、岩田健治を熱く語りました。井出さんの講演は「岩田健治」を執筆後、さらに研究とその推敲を重ねた報告で参加者に大きな感動を与えるました。参加者は35名。

6者共闘 ガザ攻撃 即時停戦を訴える

イスラエルのガザ自治区への進攻が始まってから1年となる10月7日、憲法会議・護憲連合、9条の会、1000人委員会、県労連、労組会議の6団体でつくる6者共闘のメンバー30名が、長野駅前で即時停戦などを訴える街頭宣伝を行いました。すでにガザでは4万人にも上る死者が、その大半は子ども・女性です。

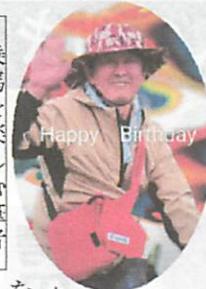
ノーベル平和賞が原爆被爆協に授与されました。ロシア・イスラエルが核兵器を使用をほのめかすことへの重大な警告でもあります。

モンゴルでの乗馬の旅

豊かな大自然を満喫

北部 猿坂 支部 加藤善正

友情執筆



乗馬を楽しむ筆者

私は、塩尻木曽支部の三浦みをさんと、モンゴル乗馬の旅に参加する幸運に恵まれました。一緒に行ったのは、三浦さんの仲良しの友人総勢7人。三浦さんの息子さんを除いた参加者平均年齢72・5歳。旅行社の宿泊先・乗馬施設、仲良しの日本語が堪能なガイドさんなど最高の条件が揃つており、旅への期待は膨らみました。モンゴルに到着し、テレルジ国立公園への移動中は見渡す限り草原で、牛や羊、馬やヤギが無数に放牧されていました。テレルジには森もあり川もあり豊かな自然がいっぱいでした。6泊はゲル（遊牧民が暮らす移動式住居）での生活です。一日の生活は、いたつてゆつたり。朝起きて、三浦さんは、ゲルの外でコカリナ（木製の小さな笛）を奏でます。ゆっくり食事をとり、午前か午後に乗馬。乗馬は観光地で少し経験した程度でしたが、よく訓練された優しい馬達、馬に乗つて私たちの馬を引いてくれるフレンドリーなモンゴルの人、広くてゆつたりした景色、パライティーにとんだ乗馬コースで毎日が楽しかつたです。馬を引いてくれるモンゴル人の中には、夏休みでアルバイトに来ている13歳の少年もいました。住み込みで、朝から22時の日が暮れるまでよく働き、よく遊びます。昼は温かいですが、朝晩は冷え込むので、ゲル内で薪ストーブを焚きます。風呂はありませんが、共同シャワーが完備されています。食事は、羊・牛・鳥肉料理と餃子類、野菜スープなどとても美味しく、毎回ミルクティーが出てきました。乗馬で印象に残っていることは、乗馬最後口が雨で、地面もぬ

かるんでもいました。足が少し不自由な史朗さん（三浦さんの息子さん）には乗馬は無理だと、モンゴル人の長（おさ）が言つていました。みんなは、三浦親子だけゲルに残して乗馬するのは・・・と思案していました。その時、史朗さんのとつた行動とは、ゲルの入り口で、身支度を整えて乗馬する気満々の姿でした。モンゴル人の長にお願いし、全員で最後の乗馬が実現しました。全員で乗馬を始めると、雨も上がり、心地よいモンゴルの風が吹いてきました。まさに“史朗パワー”だと思いました。強い願いを持つこと、表現することの大切さを史朗さんから教えてもらいました。ここでモンゴルについて、面積は日本の4倍。人口346万人で人口密度1km²あたり2・2人。首都ウランバートルの人口は169万人で、人口密度1km²あたり360人と集中しています。（参考…長野県の人口密度151人）人口の集中するウランバトルに来て、久しぶりに都会に戻った気分になりました。ガイドさんから聞いた話ですが、人口密度2・2人なので、ウランバトル以外は、どこでも、25mブル約3個分の土地（約7・5アール）を柵で区切つて自分の土地にして家を建てていいそうです。

（地代は無料料）



旅を共にしたオールメンバー

最後に、モンゴルの豊かな自然を大切にしてほしい。韓国や中国からの観光客が急増しているようです。現金収入が増えるのはいいことですが、宿泊施設の建設ラッシュやごみの処理など課題は多く心配です。豊かな自然を満喫しながら地球環境を守つていくことの大切さも考えさせられた旅でした。

【完】